

公表用

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（平成25年度採択課題）

FS（革新的研究調査）評価結果

番号	FS研究名	研究代表者	評価
25-5	繊維シートや鋼板によって補強されたRC部材の再劣化に対する健全度評価法の開発	東北大学 教授 鈴木 基行	A

<研究の概要>

経年劣化した道路橋は、補修・補強されて供用が続けられている。本研究は、繊維シートや鋼板補強によって表面が覆われ、再劣化による変状が目視確認できない桁や床版などのRC部材に対して、非破壊検査法と健全度評価法を開発する。

<FS評価結果>

FS研究により、RC部材の補強後の再劣化を把握できる可能性を実証したことから、新規研究として採択する。

<参考意見>

1. 実際の現場は様々な損傷メカニズムが複合することから、点検診断プロセスの中で、本手法の位置づけを勘案した上で、取り組んでいただきたい。
2. 鋼板接着などの補修工法は、既存構造物との接着性や材料の弾性係数などの材料特性によって様々な機能を発揮することから、補修工法毎に当初の性能と劣化後の性能を確認した上で、検討を進めていただきたい。
3. 年次計画の最終年度には、実用化に向けた成果の取りまとめを行うことを考慮されたい。